夏原グラント

活動報告書

2024
年度

夏原グラントは環境分野の事業活動を助成しています。
滋賀・京都の助成先団体の成果をご紹介します。

琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催　公益財団法人 平和堂財団

協賛 株式会社 平和堂

ごあいさつ

皆様には、日頃より公益財団法人平和堂財団の助成事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の 5 分野で助成活動を行っています。その中でも、琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた財団として環境分野には重点的に取り組んできました。特に、環境保全活動助成事業「夏原グラント」は前理事長の思い入れもあり、環境分野の中心的な助成事業として 2012 年度から取り組んでいます。

毎年、多くの市民活動団体からのご応募があり、2024 年度は、65 団体に助成を受けていただくことができました。これも助成を受けて熱心に環境保全活動に取り組んでいただいている滋賀と京都の市民活動団体の皆様のお陰です。皆様の活動により夏原グラントへの理解も深まり、ご賛同をいただける方が増えてきており大変喜んでおります。

助成金贈呈記念交流会には選考委員の皆様にもご参加いただき、各団体の交流を深めていただくことができました。4 回に分けて開催した交流会でも団体間の交流や活動ノウハウを深めあっていただきました。

この度、2024 年度の助成を受けていただいた団体からご提出いただいた活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業　夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子でご紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長　　夏原美智子

目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール …… 1

選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会 、公式サイト …… 2

夏原グラントの特徴、市民環境講座 …… 3

2024 年度採択事業紹介・団体一覧表 …… 4-5

事業報告　1 年目 14 団体 …… 6-10

事業報告　2 年目 15 団体 …… 11-15

事業報告　3 年目 12 団体 …… 16-19

事業報告　ステップアップ 1 年目1団体 …… 20

ステップアップ助成とは、サイトで紹介～組織運営のヒント …… 20

団体交流会、ロゴマークとリンクバナー …… 21

褒章・表彰等団体の紹介 …… 22-23

表紙の写真説明、画像による事業の紹介 1 …… 24

裏表紙の写真説明、画像による事業の紹介 2 …… 25

助成金の概要

●名称
平和堂財団環境保全活動助成事業
「夏原グラント」
※グラント「grant」　＝助成金

●対象となる事業
この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

●活動の種類
(1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
(2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
(3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
(4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動植物の保護・保全や生物多様性維時の活動
(5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
(6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

●活動の形態
(1) 実践活動
(2) 教育啓発・人材育成活動
(3) 調査研究活動 (実践活動に結びつくものが対象で、学術的な研究活動は対象外)

●一般助成金の対象となる団体
事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で環境保全活動に取り組んでいる NPO 法人、市民活動団体または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体
(1) 立ち上げ支援
これを機に活動を始めようとする団体
(2) 小規模事業の支援
比較的小規模事業を継続実施してきた団体
※ 採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額
(1) 一般助成
NPO 法人、市民活動団体
1 件あたり上限 50 万円

(2) ファーストステップ助成
1 件あたり上限 10 万円

2024 年度 募集要項

選考基準

(1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。

(2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。

(3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。

(4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2023 年
11 月 25 日　説明会・事前相談会の開始
12 月 1 日　募集開始
2024 年
1 月 31 日　募集締め切り
2 月 27 日　1 年目 1 次選考委員会
3 月 9 日　2 年目選考委員会
プレゼンテーション
3 月 20 日　1 年目 2 次選考委員会
プレゼンテーション
4 月 19 日　贈呈式

助成金事業実施期間
2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日まで

選考委員

仁連　孝昭	学校法人関西文理総合学園　理事長
西野　麻知子	元びわこ成蹊スポーツ大学　教授
内田　香奈	きょうと NPO センター　副統括責任者
脇田　健一	龍谷大学　教授
辻　博子	しがローカル SDGs 研究会　事務局長

（敬称略・順不同・2024 年度選考当時）

応募・採択事業数

1 年目事業応募数	32 事業	うち採択 14 事業
2･3 年目事業応募数	27 事業	うち採択 27 事業
ステップアップ応募数 (1･2 年目)	4 事業	うち採択　1 事業
ファーストステップ応募数 (1･2 年目)	35 事業	うち採択 23 事業
助　成　総　額		**18,137,000 円**

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている方々を対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後、質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応しました。昨年度に引き続き、オンラインでの相談も行いました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っていたしがＮＰＯセンターのスタッフがあたりました。

▼開催日（すべて 2023 年）

11 月 25 日（土）ハッシュタグ大津京　（大津市）
11 月 30 日（木）ひとまち・交流館京都　（京都市）
12 月　4 日（月）草津市立市民総合交流センター　（草津市）
12 月　7 日（木）彦根勤労福祉会館　（彦根市）
12 月 10 日（日）コミュニティプラザよしとみ　（南丹市）
オンライン相談会（zoom 利用）
12 月 11 日（月）～ 12 月 16 日（土）の各日で受付

公式サイト

●夏原グラント公式サイト
https://www.natsuhara-g.com/

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中の Q&A も掲載するなど、応募前から終了後までていねいに説明しています。募集要項、申請書類、採択後の活動で使用するロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場を取材し、豊富な写真とともに紹介しています。キーワード検索も可能です。

ぜひ、アクセスしてください。スマートフォンでもご覧いただけます。

夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員等で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで、活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

市民活動や非営利活動の支援・サポートに取り組む「中間支援組織」が事務局を担うことで、専門性と強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受け、アドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話いただきました。

●第１回　７月 17 日（水）
「環境保全活動に取り組むうえで
知っておきたい消費行動の話」
講師：辻 博子さん
（しがローカル SDGs 研究会 事務局長）

活動を始める際には様々なものを購入する必要があります。環境負荷の少ない消費の考え方「３R」と「もとから減らす」リデュースの考え方の紹介から始まり、買い物をするうえでも環境に配慮した購買行動を促す「グリーン購入」の説明へと続きました。どういう基準で商品を選ぶか、環境に配慮された製品を購入することでリサイクルの輪をつなぐ、という意義を伝えていただきました。

外洋でのプラスチックごみの影響と、琵琶湖の砂浜でのマイクロプラスチックごみ調査の結果を紹介。ごみが見えないような砂浜でも、5mm 以下のマイクロプラスチック（人工芝の切れ端や、被覆肥料の殻も多い）がたくさん見つかったという実例を目にして、参加者の皆さんは生活の中でもプラスチックへの依存度合いについても実感されたようでした。

●第２回　９月８日（日）
「つながればひろがる
～ネットワークの作り方・活かし方」
講師：内田 香奈さん
（NPO 法人きょうと NPO センター 副統括責任者・
京都市市民活動総合センター センター長）

課題が複雑化してきた現在において、一団体での取り組みで解決できるものよりも、複数の団体の力を合わる「連携」「パートナーシップ」でしか解決できないものも増えてきた、と連携することの重要性を解説されて講座が始まりました。多様な団体のネットワークは、お互いの得意・不得意を補え、活動がさらに大きな効果を生むことにもつながります。夏原グラントの一般助成申請でも「連携体制」が記入項目となっており、事業の広がり、効果などをそういう部分からも確認しているということでした。

協力体制をつくるといっても、わたしにとってのいいことがあなたにとってのいいことかどうか…をおろそかにしがち、と解説され、よりよい協力を生む関係づくりのポイントや協力を先を広げるコツなどを紹介されました。

2024 年度採択事業紹介

この報告書では、2024 年度に夏原グラントの一般助成とステップアップ助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の 3 つについてお聞きしています。

1 年目 14 事業、2 年目 15 事業、3 年目 12 事業、ステップアップ 1 事業の計 42 事業を掲載しています。

2024 年度助成事業・団体一覧

1 年目　14 事業

地域	事　業　名	団　体　名	頁
滋賀	**里山有効利用による地域活性化と名所作り**	Stay Forest	6
滋賀	**チーム「出会いの森」**	特定非営利活動法人花と観音の里	6
京都	**有機農業拡大**	立命館大学経営学部プロジェクト団体 丹後村おこし活動チーム	6
滋賀	**地域のみんなで『十禅寺川いきもの調査隊』**	あおむしくらぶ	7
滋賀	**今郷棚田における自然環境の保護・保全活動**	今郷棚田集落協定	7
滋賀	**東近江トレイルコース　にぎわい里山づくり**	東近江トレイル実行委員会	7
滋賀	**伊吹山三合目　豊かな植生を守る獣害防止金属柵設置事業**	ユウスゲと貴重植物を守り育てる会	8
京都	**暮らしの知恵を次世代へ継承する栃の実プロジェクト**	久多里山協会	8
京都	**21 くろやま塾の活動**	21 くろやま塾	8
滋賀	**比良比叡山域における稀少植物の実態調査 および維持保全活動事業**	比良比叡トレイル協議会	9
京都	**サケ環境保全啓発事業**	由良川サケ環境保全実行委員会	9
京都	**里山保全と利用しやすい里山づくり**	SYK 重利夢工房	9
京都	**バンブードームを作って竹工作を楽しもう！**	藪の竹ぼうき	10
京都	**炭焼きの伝統継承と森林保全活動**	下区集落支援事業委員会	10

2 年目　15 事業

地域	事　業　名	団　体　名	頁
滋賀	**自然満喫！野外でとことん遊ぼう！！**	小森クラブ	11
滋賀	**絶滅危惧種・希少種に指定されている 野生植物の保護・保全活動**	海浜植物守りたい	11
滋賀	**小さなびわ湖水族館オサカナラボ運営と 河川環境への働きかけ**	特定非営利活動法人近江淡水生物研究所	11
滋賀	**米川・かわまちづくり事業**	長浜まちなか地域づくり連合会	12

地域	事　業　名	団　体　名	頁
滋賀	ヨシの活用によるヨシ原の保全	まるやまの自然と文化を守る会	12
滋賀	朽木野鳥を守る会	朽木野鳥を守る会	12
滋賀	東近江里山保育推進と里山観察学習事業	東近江さとやま Nannies	13
滋賀	「伊吹の薬草」を未来につなぐ～仕組みづくりの挑戦～	伊吹くらしのやくそう倶楽部	13
京都	京都自生の絶滅寸前種の保全育成を推進する	源氏藤袴会	13
京都	環境保全（竹林整備）の持続可能な視点をどうつくるか	特定非営利活動法人フロンティア協会	14
京都	里山整備に関わる次世代スタッフ育成（里山であそぼう会）	上宮津・杉山エコガイドの会	14
京都	生ごみ処理機の改善	認定特定非営利活動法人ブルーシー阿蘇	14
京都	有機栽培農業塾	特定非営利活動法人ふるさと保津	15
京都	里山の恵み、長尾山の生物多様性を感じよう！	特定非営利活動法人亀岡人と自然のネットワーク	15
京都	希少生物の棲む石積み水路の補修と林産物の有効活用を目指す炭焼き事業の推進	天引区の活性化と未来を考える会	15

3 年目　12 事業

地域	事　業　名	団　体　名	頁
滋賀	滋賀の河川・湖沼等の環境保全を目的とした最新科学技術の活用と地域環境問題解決	未来生物学研究所	16
滋賀	西の湖自然楽校	特定非営利活動法人西の湖自然楽校	16
滋賀	山の手入れと地元の紹介イベントを通じた地域環境の活性化	東草野炭焼き文化保存会	16
京都	「わきの山」における持続可能な里山利用にむけたゾーニングの検討および実施	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会	17
京都	吉田山の自然環境を保全・整備し人々が集い楽しめる里山に再生する事業	吉田山の里山を再生する会	17
京都	持続可能な集落棚田のための環境保全型ネオ・スモールファーマー発掘プロジェクト	特定非営利活動法人スモールファーマーズ	17
京都	花背の森ガタリ～土地に根ざした学びの場	林業女子会＠京都 花背支部	18
京都	ボタン科ボタン属ヤマシャクヤクの保全	雲ケ畑・足谷　人と自然の会	18
京都	森の保全及び公園の清掃活動	みどりの会伏見桃山	18
京都	竹林の整備による放置竹林の発生防止と景観保全	特定非営利活動法人京都発・竹・流域環境ネット	19
京都	遊んで学ぼう　里山東笠取	特定非営利活動法人オーガニック土の塾	19
京都	けいはんな記念公園における里山管理事業	コナラ会	19

ステップアップ 1 年目　1 事業

地域	事　業　名	団　体　名	頁
京都	特定外来種のオオハンゴンソウ駆除で美しい花背の自然を守る	特定非営利活動法人自然観察指導員京都連絡会	20

里山有効利用による地域活性化と名所作り　Stay Forest

活動場所　滋賀県長浜市
所在地　滋賀県長浜市大門町
連絡先　080-8805-6728
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●植物

夏原グラントで実施した事業の紹介

長浜市の旧浅井町の低山に八丈岩と言われる大岩があります。ジャングルだった森を整備して登山道をつくり、自由に遊べる森づくりをしました。人が入らなくなった山に登山道をつくり地域も見渡せる見晴らしのよい名所をつくって、多くの人が訪れるようになりました。他団体とのイベント共催を行い、より多くの人への活動アピールや環境活動の大切さ、地域を守ることの大事さを伝えることで参加者から共感を得られました。

環境や地域への貢献

何十年も放置されてきた森を広く明るく手入れすることで、地域の方や他県の方が来訪し、昔の美しかった地域の山を思い出し、イベント参加や作業のお手伝いに来ていただけるなど、地域が明るくなってきました。

助成金が活きたと思う点

森あそびのイベントでは、講師を依頼する費用に助成金を充てました。行ったイベントを通じて活動に興味を持ってもらうことができました。

チーム「出会いの森」　特定非営利活動法人花と観音の里

活動場所　滋賀県長浜市
所在地　滋賀県長浜市
連絡先　滋賀県長浜市高月町落川 35-2　0749-85-5557
活動分野　●植物

夏原グラントで実施した事業の紹介

高月図書館敷地の「出会いの森」を蘇らせる活動です。高月町から長浜市に合併後、手入れが不十分で荒れていた「図書館花壇」「出会いの森」「出会いの広場」が、当会の活動によって図書館利用者や地域住民の憩いの場として、本来の目的を取り戻しました。

環境や地域への貢献

図書館花壇は土壌整備作業を行い、7 月に 400 株、11 月に 400 株の花を植え綺麗に咲かせました。12 月には「出会いの森」の剪定や落ち葉かきを 50 名程のボランティアで作業し、心地よい環境に蘇りました。剪定枝や落ち葉はまとめて粉砕し、低木の周りに敷き詰め、防草や土壌改良効果になり「捨てればごみ・生かせば資源」の実践の場となっています。図書館利用者や地域住民からも、この事業への認知を実感しています。

助成金が活きたと思う点

花苗 800 株の購入、土壌改良のための肥料購入、作業用ダンプのリース、剪定鋏の購入など夏原グラント助成金を有意義に活用し、事業の目的が達成できました。

有機農業拡大　立命館大学経営学部プロジェクト団体　丹後村おこし活動チーム

活動場所　京都府宮津市日ヶ谷　他
所在地　滋賀県草津市野路東
活動分野　●森・林・里地

夏原グラントで実施した事業の紹介

京都府宮津市日ヶ谷の圃場で、無農薬・無化学肥料の稲作を行っており、里山の自然環境保全に寄与しています。2024 年度は有機農法での耕作面積拡大を目指し、圃場面積を2023 年度から倍の約 1 反に拡大しました。また、有機農法の省力化の必要性から、日ヶ谷から離れた都市部でも稲の生育状況の確認ができるようにライブカメラを導入しました。

環境や地域への貢献

無農薬・無化学肥料の稲作によって、土壌や水質汚染の防止、生物多様性の保全を図りました。また、地域住民との連携により有機農法での作物栽培や加工を行ったほか、当会の調査によって得た地域の地質や地形などの地域特性や風土を住民に共有することで、地域の価値や魅力を再確認することができました。

助成金が活きたと思う点

有機農法の拡大を目指す上での課題は、遠隔地（都市部）でも稲作に携われる仕組みづくりと除草の効率化でした。前者に関して、助成金の活用によりライブカメラを導入し、遠隔地から稲の生育状況を確認することができるようになりました。2025 年度以降は、他の IOT デバイス（水位水温センサーやドローン）と組み合わせ、効率的な除草方法を検討していく方針です。

＊活動分野：●子ども　●水・水辺　●森・林・里地　●動物　●植物　●エネルギー・エコ　●普及・啓発　●参加募集

地域のみんなで『十禅寺川いきもの調査隊』　あおむしくらぶ

活動場所　滋賀県草津市十禅寺川
所在地　滋賀県草津市
活動分野　●子ども / ●水・水辺 / ●動物

夏原グラントで実施した事業の紹介

当事業では、滋賀県草津市を流れる十禅寺川で子どもたちと一緒に生き物調査とごみ拾いをしています。この活動を通して十禅寺川へ目を向けてもらい、地域のみんなで十禅寺川を守っていけることを目指しています。
2024 度は春･秋･冬の３回調査を行いました。そして、比べてみよう!をテーマに、甲賀市の今郷棚田でも生き物調査をしました。環境と生き物の違いはもちろんのこと、地域によって環境保全への取り組み方も違うことが分かりました。

環境や地域への貢献

この活動では、ごみ拾いも大切な活動の１つです。毎回、ごみ袋５つ分ほどを回収しており、景観も良くなってきました。

助成金が活きたと思う点

助成金では生き物に詳しい先生を招くことができ、十禅寺川に棲む生き物たちのことが少しずつ分かってきました。在来種と外来種のことを考える機会も増え、子どもたちの中では在来種を守りたい!という気持ちが高まっています。また、胴長やビブスを購入することができ、安全に活動することができています。

今郷棚田における自然環境の保護・保全活動　今郷棚田集落協定

活動場所　滋賀県甲賀市水口町今郷棚田
所在地　滋賀県甲賀市水口町今郷 617
連絡先　irorian05@gmail.com
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●動物 / ●植物

夏原グラントで実施した事業の紹介

今郷棚田は 2021 年に棚田地域振興法による指定棚田地域に指定され、2022 年には農林水産省の「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定されました。希少種なども生息する自然豊かな今郷地区では、生態系保全活動として博物館など専門機関と連携し、持続可能な棚田保全に取り組んでいます。「今郷棚田集落協定」は、その貴重な生き物たちを守るためにビオトープづくりを進めながら、地域の自然環境を守りつつ活かす取り組みにより、地域の活性化を目指して活動しています。

環境や地域への貢献

県内博物館などと連携した自然観察会を立命館大学や草津で活動する「あおむしくらぶ」を招いて開催しました。甲賀市の花であるササユリや絶滅が危惧される希少種の観察会を通して、生き物への興味と自然を大切にする心を育む一助になりました。

助成金が活きたと思う点

「ビオトープと里山の整備を通した地域活性化」を掲げて進めている「見せるビオトープ」の造成工事は、専門家の意見を取り入れながら設計図を作成し、第一期工事を実施することができました。

東近江トレイルコース　にぎわい里山づくり　東近江トレイル実行委員会

活動場所　滋賀県東近江市五個荘　繖山、箕作山
所在地　滋賀県東近江市五個荘小幡町 318
五個荘コミュニティセンター内
連絡先　五個荘コミュニティセンター内
0748-48-7303
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●植物 / ●普及・啓発 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

東近江トレイルコースの整備活動には、助成金で刈払機を２台購入しました。年間、延べ 226 人が従事して里山整備を進めました。そのための燃料費や消耗品にも有効に活用しました。さらに里山の環境を次世代につなぐためトレイルコースの繖山、箕作山の魅力を知ってもらえるように助成金を使い「東近江トレイルシンポジウム」を開催しました。

環境や地域への貢献

東近江市エコツーリズム推進協議会のメンバーの一員としてエコツアーを年間に３回実施して、トレイルコースの魅力を感じてもらっています。また、モンベルと東近江市が主催する「びわ湖東近江 SEA TO SUMMIT」のハイクコースにも繖山、箕作山のトレイルコースが指定され、全国から約 220 人が参加して、同時に地域経済の活性化にも貢献しています。

助成金が活きたと思う点

シンポジウム参加者 220 人の内、34 人に里山整備に関心を持ってもらいました。2025 年度には、自然環境に配慮した新しい手法での登山道整備とメンバー増員に手ごたえを感じています。

伊吹山三合目 豊かな植生を守る獣害防止金属柵設置事業　ユウスゲと貴重植物を守り育てる会

活動場所　滋賀県米原市伊吹山三合目
所在地　滋賀県米原市
連絡先　090-3286-8191（髙橋）　taki1377@za.ztv.ne.jp
活動分野　●森・林・里地 / ●植物 / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

日本百名山の一つで古来より豊かな植生で知られた伊吹山は、現在地球温暖化等の影響によるニホンジカの急増、頻発する集中豪雨で深刻な生態系の衰退が見られます。このため、官民共同で環境保全に取り組み、当会は伊吹山三合目の貴重な植物を獣害防止柵等で保全しています。しかし、当初設置した樹脂製ネットは経年劣化してシカの侵入を防げないため、より保全効果の高い金属柵に更新し、持続的に豊かな植生を守っています。

環境や地域への貢献

三合目には固有種のルリトラノオ、夏に一帯をレモンイエローに染め上げるユウスゲの群落、絶滅危惧Ⅱ類のキセワタをはじめ、多くのレッドデータ記載の植物があります。金属柵更新でより確実に長期にわたり貴重な植生を守るとともに、植物観察会などを通じて多くの人たちに地域の魅力発信、課題共有をすることができました。

助成金が活きたと思う点

金属柵更新は資材購入の資金が課題でしたが、助成により三合目全体の金属柵化にめどが立ちました。金属柵の看板に助成事業である旨とシカの食害から植物を保全する金属柵の役割を記載し、取り組みを伝えています。

暮らしの知恵を次世代へ継承する栃の実プロジェクト　久多里山協会

活動場所　京都府京都市左京区久多
所在地　京都府京都市左京区久多
連絡先　京都府京都市左京区久多下の町 37
075-748-2180
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●植物 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

2024 年度に実施したプロジェクトは、久多地域の特産品の原料でもある栃の実の収穫と皮剥ぎ・アク抜きの技術を継承するためのレシピづくりです。

環境や地域への貢献

久多地域の方が、今回の事業を通して自身が持つ山へ意識を向けてくれるようになったことと、教えてくださったおばあさんたち自身が、受け継いできた知恵を次の世代に伝えられたことを喜んでくださったことです。小さな一歩ですが、振り返った時に久多地域にとって大きな分岐点であったと言えるよう続けていけたらと考えています。

助成金が活きたと思う点

久多地域に残る昔ながらの暮らしの知恵を実践的に知っている方は、現在 85 才以上となり、昔のことを教わる最後のチャンスを迎えています。このタイミングで助成金を受けて、みんなで注力して栃の実の収穫からアク抜きまでのレシピを作成できたことはとてもありがたいことでした。個人として取り組むにはお金と時間をかける難しさがありますが、地域にとって大切なことに会として今後も取り組んでいきたいです。

21 くろやま塾の活動　21 くろやま塾

活動場所　京都府京都市右京区京北地域（旧北桑田郡京北町）主に黒田・山国地区＝桂川源流域
連絡先　京都府京都市右京区京北辻町狭間ノ元 85-1
m78_taraotaro.ultra-belial@docomo.ne.jp（益田）
TEL 090-6827-3912　Fax 075-853-0650
LINE 公式アカウント
活動分野　●子ども / ●水・水辺 / ●森・林・里地

夏原グラントで実施した事業の紹介

農業を通じた環境保全活動を実施しました。一つは、休耕地を利用したさつまいも栽培です。関連する畔や水路周辺の草刈りなど、周辺環境の管理をすることで、中山間地の生活に直結する自然環境保護の活動ができました。もう一つは、稲作の副産物を利用したわら細工です。昔から行われてきたわらの活用に触れ、資源循環について学べました。

環境や地域への貢献

イベント実施で再訪問者も増えるなど、地域の環境や一次産業への関心が広まっています。また、人口減に加え非農家が増える中で、活動を通じて塾員が得た様々なスキルが、地域の環境保全活動に還元されています。

助成金が活きたと思う点

広報（案内チラシなど）の充実や農業資材等消耗品の購入ができるようになり、金銭面での心配なく活動を広げることができました。また、助成金を得ることが、計画を資金面からも検討するきっかけになり、活動内容を見直すなど、塾本来の活動をより効果的に実施できるようになりました。

＊活動分野：●子ども　●水・水辺　●森・林・里地　●動物　●植物　●エネルギー・エコ　●普及・啓発　●参加募集

比良比叡山域における稀少植物の実態調査および維持保全活動事業　比良比叡トレイル協議会

活動場所　滋賀県大津市～高島市の比良比叡山域（約 50km のトレイルコース周辺）
所在地　滋賀県大津市浜大津四丁目 1 番 1 号 大津市市民活動センター
活動分野　●森・林・里地 / ●動物 / ●植物

夏原グラントで実施した事業の紹介

比良比叡トレイルは、延暦寺から朽木てんくう温泉まで約 50km の自然豊かなロングトレイルコースです。バイカオウレン、シャクナゲ、イワカガミ、カタクリなど色とりどりの花が咲き誇り、登山者の目を楽しませています。しかし、植生調査を随時実施した結果、温暖化や盗掘などにより、稀少な植物に危機が迫っていることが明確になりました。この活動を通して、今後保護すべき稀少植物について絞りこむことができました。

環境や地域への貢献

活動中に蓬莱山でシカの大群に出くわし、その模様を撮影した写真が大津市議会通常会議で質疑に使用されました。シカの食害による土砂災害の危険性を広く知らしめることができたと思います。

助成金が活きたと思う点

従来の活動はトレイル道の整備やガイド活動等が主でしたが、助成金を機にトレイル道周辺の環境維持を心掛けるようになりました。山野草の植生調査を随時実施したことで、稀少な植物の減少等を認識することができ、我々のメンバーが説明員を務めた自然観察会で一般登山者の環境意識向上にも貢献できました。

サケ環境保全啓発事業　由良川サケ環境保全実行委員会

活動場所　綾部市、福知山市、舞鶴市を核に京都府内全域
所在地　京都府綾部市
連絡先　京都府綾部市駅前通 51-1 ARAI ビル 2F 佐々木幹夫事務所内
TEL 0773-42-2222（転送あり）
ayabejk@cello.ocn.ne.jp
活動分野　●水・水辺 / ●森・林・里地 / ●動物

夏原グラントで実施した事業の紹介

日本海最南端の川で、「ふるさとの川へサケよ帰れ!」をスローガンに親サケを捕獲し、稚魚を放流する活動をしています。特に、サケが生まれた川へ戻る「母川回帰」の習性を活かし、人々にふるさとの大切さを伝えることも目的の一つです。子どもたちに「ふるさとは心の原点」であり、人生の中でつらいことがあっても、ふるさとの自然や人々が支えになってくれることをこの事業から知ってほしいです。

環境や地域への貢献

サケの放流事業を通じて地球温暖化防止や川を美しくする活動を実践し、由良川やその周辺の環境を守る努力を続けています。また、サケの誕生を見守ることで、生命の尊さを実感してもらう機会も重視しています。最近では、ゲームなどの影響か命への関心が薄れる傾向がありますが、希望する市民の家庭などで稚魚を卵から放流前まで育てる飼育参加の機会を通し、命の大切さを学んでもらえると確信しています。2024 年度はサケの不漁により、飼育参加のための卵を確保できませんでした。この現実を通して、自然の厳しさを知るとともに、環境保全の大切さを改めて感じました。

助成金が活きたと思う点

事業協力者や飼育者を広げるため、周知の取り組みに活用しました。

里山保全と利用しやすい里山づくり　SYK 重利夢工房

活動場所　京都府亀岡市曽我部町重利山ノ下
所在地　京都府亀岡市曽我部町
連絡先　090-4331-9810
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

山のすぐ下に住宅地が広がっており、大雨や台風による倒木や落石を防ぐために、木の伐採や草刈りといった山の整備を行っています。また、木の伐採などで出た間伐材を活用し、ツリーハウスや展望台をつくり、遊歩道を整備し、地元住民に足を運んでもらえるような美しい里山づくりに取り組んでいます。

環境や地域への貢献

チェーンソーアート講習会や木の作品に絵付けするイベントなどを実施し、自然に触れ合うことの楽しさを知ってもらえるようなイベントを行えました。イベントの際は、里山にある自作のピザ窯でピザを焼いて振る舞いました。

助成金が活きたと思う点

2024 年度はバイオトイレ設置のために助成金を使用させていただきました。作業場にトイレがなく、これまでは近隣宅のトイレを借りていましたが、活動時に気兼ねなく利用できるトイレを設置したいと考え、環境に負荷がかからないバイオトイレを設置しました。まずは土台づくりから始め、外壁を組み立て、内装の仕上げを行いました。そこに大小分離・手動攪拌式のコンポストトイレを組み立てて設置しました。助成金によって数年前からの団体の課題を解決できました。

バンブードームを作って竹工作を楽しもう！　藪の竹ぼうき

活動場所　京都府京都市向日町物集女町長野 1
（物集女西浄水場裏の竹林）
所在地　京都府長岡京市下海印横山 10-64　別所方
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●植物

夏原グラントで実施した事業の紹介

間伐竹を使った割竹でドーム型のテントをつくりました。そのテントで住民の方に開放できる休憩所をつくり、ハロウィーンやクリスマスにはライトアップも行いました。次にドーム型テントを使った工作スペースをつくるため作業をしました。工作用長テーブルや間伐竹を燃やす無煙炭化器スペース、廃棄畳と間伐竹を使用したベンチや作業椅子などもつくりました。

環境や地域への貢献

間伐竹を使用した竹工作イベントを行うことで、竹林整備を知ってもらうきっかけになっており、地域交流の場として楽しんでもらっています。協力団体「西ノ岡丘陵物集女・寺戸竹林」と放置竹林の整備も行っています。定期的な道路清掃活動により明るく安全な竹林道の維持に貢献しています。

助成金が活きたと思う点

無煙炭化器で枯竹の処分が進み、粉砕機で枯れ枝の処分も進んでいます。電動ドライバーは工作イベントで子どもたちにも使ってもらっています。工作用長テーブルにしっかりした木材を購入できました。工作とピザ焼きのクッキングのイベントもできました。

炭焼きの伝統継承と森林保全活動　下区集落支援事業委員会

活動場所　京都府南丹市美山町下区
所在地　京都府南丹市美山町下区
連絡先　京都府南丹市美山町下上横坂 27
TEL 0771-77-0155 ／ 090-2193-2088
FAX 0771-77-0230
活動分野　●森・林・里地 / ●エネルギー・エコ / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

途絶えていた炭焼き文化の復活と継承に取り組み、年間 7 回の炭焼きを行いました。若い後継者の炭焼きボーイ・炭焼きガールに、炭焼きの技術を教えることができました。春に切った原木の株に新芽が芽吹き、森林の再生が進むことを願っています。

環境や地域への貢献

委員会メンバーが中心となり、地域住民全員で河川の草刈りや、河川などに散乱している倒木の撤去をしました。また、狩猟免許を取得して獣害対策にも取り組みました。集落内の環境美化活動にも取り組み、缶拾いや道路脇に花を植えることができました。

助成金が活きたと思う点

炭焼きに欠かせない原木の広葉樹の調達ができました。また、大型テントやチェーンソーの購入ができ、作業が捗りました。炭切り用のこぎりを新調し、炭焼きボーイや炭焼きガールがより楽しく作業ができました。南丹市や京都市の炭焼きをされている方に呼びかけ、第一回炭焼きサミットを開催でき、おおいに盛り上がりました。参加者で斧や矢、掛矢で昔ながらの木割体験も行いました。来年のサミット会場は是非とも私どもで開催してほしいと、2 団体の申入れがありました。2025 年度も開催を予定しています。

＊活動分野：●子ども　●水・水辺　●森・林・里地　●動物　●植物　●エネルギー・エコ　●普及・啓発　●参加募集

自然満喫！野外でとことん遊ぼう！！　小森クラブ

活動場所　滋賀県大津市県営春日山公園、仰木地区農園・周辺小川、仰木地区古民家、葛川地区（安曇川上流）、日本キリスト教団堅田協会
所在地　滋賀県大津市本堅田
連絡先　ekuboshizennclub@gmail.com
活動分野　●子ども / ●水・水辺 / ●森・林・里地

夏原グラントで実施した事業の紹介

子どもたちが学校の長期休み（春・夏・冬）に、のびのびと自然の中で主体的に遊び込める環境を提供できるよう活動しています。2024 年度は、春日山公園や仰木地区農園、葛川を拠点に、木工、時計作り、草木染、しめ縄作り、餅花作り、よもぎ団子作り、タケノコ探し、川遊びなどの野外活動や野外炊飯、自然創作活動を年間 26 日、実施しました。

環境や地域への貢献

野外活動や里山体験を通じ、自然と自分たちの命や生活のつながりを感じ、自然を大切にする心を育むことができました。また、毎回の活動開始前に、野外活動の危険性や安全管理についても子どもたち自身に考えてもらいながら話し合う機会を持ち、“自然と親しみながら安全に遊ぶ力” を育むことにつながりました。葛川地区での川遊びの際は、地域の方々の協力により拠点場所を提供していただき、実施できました。

助成金が活きたと思う点

葛川へのレンタカー代やリスクマネジメント研修の参加費などに充てることができ、野外活動のさらなる充実とスタッフのスキルアップにつながりました。

絶滅危惧種・希少種に指定されている野生植物の保護・保全活動　海浜植物守りたい

活動場所　滋賀県彦根市新海浜
所在地　滋賀県大津市
連絡先　090-1146-5347
活動分野　●植物 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは、滋賀県レッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているハマエンドウを増やす取り組みを行っています。2022 年度に生育状況を調査したところ、木陰に生育しており、直射日光が当たる部分は殆ど生育がなく、裸地になっていることが分かりました。裸地の地表温度を測定したところ、60℃近くにもなっていて乾ききっていました。そこで 2024 年度には、裸地部分の地温・保湿対策として松葉を散布するとともに、松葉が風で飛ばされないよう防風ネットを設置しました。その結果、裸地だった部分にも芽が出てきて、1.7 倍まで生育範囲を広げることができました。

環境や地域への貢献

活動地である新海浜の砂浜には、いろいろな外来植物が生えています。重点的に、植物に寄生して枯らしてしまうアメリカネナシカズラと、ハマエンドウの生育区域に入り込んでくるツルニチニチソウの駆除を行っています。

助成金が活きたと思う点

私たちの多くは草津市近隣に住むメンバーです。活動を行っている彦根市新海浜までは遠く、交通費が多くかかります。助成金により大変助かっています。

小さなびわ湖水族館 オサカナラボ運営と河川環境への働きかけ　特定非営利活動法人近江淡水生物研究所

活動場所　滋賀県長浜市北船町 3-24 えきまちテラス長浜
所在地　滋賀県長浜市小野寺町 494-7
活動分野　●水・水辺 /●動物 /●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

えきまちテラス長浜の 1 階にある「ちいさなびわ湖水族館オサカナラボ」の維持管理と運営を行っています。2024 年度は、ビワコオオナマズ専用の 150cm 水槽を設置しました。
60 ㎝水槽で狭そうにしていたビワコオオナマズがのびのびと泳ぎ始め、50 ㎝だったボディサイズがこの 1 年で 70 ㎝にまで成長しました。あと数年で 1m に達するだろうと楽しみにしています。そのほかにも、ブラックバスなどの外来種、ハゼ科やコイ科の魚たちなど、琵琶湖水系の魚を 60 種ほど常時展示しています。

環境や地域への貢献

毎年、長浜港にはうみのこ学習船がやってきます。2024 年度から当水族館がうみのこの長浜散策ルートの一つに指定され、多くの小学 5 年生が訪れてくれたことは本当にうれしいことでした。また、長浜 MLGsCAFE と題した学習会も毎月開催することができ、市民の参加者とともに、環境保全や生物多様性について多くを学ぶことができました。

助成金が活きたと思う点

水族館運営の安定と 150 ㎝水槽を設置するというチャレンジをさせてもらいました。みなさまに愛される水族館として頑張り続けます。

米川・かわまちづくり事業　長浜まちなか地域づくり連合会

活動場所　滋賀県長浜市中心市街地
所在地　滋賀県長浜市
連絡先　0749-64-2753
活動分野　●子ども / ●水・水辺 / ●森・林・里地 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

2020 年度から、米川が持つ可能性を共有し、そこに長浜まちなか特有の魅力（町衆、歴史文化）を掛け合わせ、地域の「誇り」「顔」づくりとともに、水辺空間を活かした地域活性化に取り組んでいます。これまで、5 つのゴールを目指すなか、「米川で遊ぼう」では、子どもたちと水生生物観察会や手づくりの川床遊びなどで、プレイパークづくりを目指しています。

環境や地域への貢献

米川をはじめ多くの河川は、行政が河川管理を厳しくすることで、地域住民の暮らしから遠く離れた空間となってきました。こうした川に背を向けた状況を、河川清掃や水辺環境の保全、ビワマスなど、かつての生態系の復元などの取り組みを通して、もう一度“市民の空間（Public Space）”となるよう活動しています。着実に、関心と愛着が深まってきているように思います。

助成金が活きたと思う点

長いようで短い 3 年間という期間を継続して助成いただけることで、計画が立てやすくなっています。環境というテーマは地域にとっても幅広く関係しており、創意工夫により、市民が楽しむ、喜ぶといった身近な取り組みが実施でき、参加者からは大きな反響が生まれています。

ヨシの活用によるヨシ原の保全　まるやまの自然と文化を守る会

活動場所　滋賀県近江八幡市 他
所在地　公開なし
活動分野　●水・水辺 / ●植物 / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

西の湖は国内随一の品質を誇るヨシが収穫できる湿地です。茅葺き屋根や葭簀といった住環境を向上させるための素材として、余すことなくヨシは活用されてきましたが、生活様式の変化に伴い、人の手が入らないヨシ原が少しずつ増えてきました。私たちは、健全なヨシ原を維持するために、保全を目的とするのではなく、素材としての活用を復活させて、結果として保全されることを目的として、西の湖周辺のヨシ原を守っていきます。

環境や地域への貢献

ヨシには環境によい影響を及ぼす能力がたくさんあるのですが、そのほとんどが人の手が入ってこそ発揮できることです。人の手が入ってヨシが健全に生長しているヨシ原は、水や空気を浄化するだけでなく、鳥や魚の住処にもなっています。

助成金が活きたと思う点

ボランティアによる保全活動だけでは、広大なヨシ原を守ることは難しいと考えています。将来的に産業として自立させるためには、情報の発信力を高めることも重要と考えており、そういった事業にも助成金を活用できることは大変ありがたいです。

朽木野鳥を守る会　朽木野鳥を守る会

活動場所　滋賀県高島市朽木柏 341
グリーンパーク想い出の森
所在地　京都府京都市中京区堀之上町 119 岡松ビル 3 階
連絡先　同上住所　090-8820-8400
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●動物 / ●普及・啓発 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

当会は、鳥類の繁殖や生育のため、以前に公園化され廃止後も生態系の回復にいたらない地域で、環境の補填や植生の再生事業を行っています。

環境や地域への貢献

巣箱を継続的に設置しています。2023 年には改良の結果、ニホンザルなどによる攪乱をなくすことができました。植生回復の実証的実験として、公園化跡地を浅く掘り下げ、堆肥と混入して埋め戻す作業を継続的に実施しており、植樹とあわせ植生の豊富化が視認できています。2023 年度には土壌中生物の調査を行い、土壌中の小動物の豊富化や菌根類の増加が見られ、生物多様性に効果があることが実証できました。また、ガイドマップの作成と配布を行い道に迷う人が減ったという評価を得ています。このマップによる影響も大きく、現在増刷中で、すでに 7000 部を配布しました。2024 年度は活動に参加申込みが増え、周知が高まったように思います。

助成金が活きたと思う点

公園化とその廃止は公的資金が導入されますが、その後、自然の生態系のサイクルによって環境が保全される状況を再生するには、時間もかかる上にボランティアの労力のみでは不可能です。助成金があってこそ、会員に過度の負担を求めることなく、継続的な活動が可能になっています。あらゆる専門知識を持つ方も増え、会議や宿泊を伴う活動などでもさらに協力者が増えました。

＊活動分野：●子ども　●水・水辺　●森・林・里地　●動物　●植物　●エネルギー・エコ　●普及・啓発　●参加募集

東近江里山保育推進と里山観察学習事業　東近江さとやま Nannies

活動場所　滋賀県東近江市内の里山及び幼児園、保育園など保育所周辺。2024 年度 8 箇所（各幼児施設に対応する 27 箇所まで拡張を計画）
所在地　東近江市八日市金屋 2 丁目 6-25
連絡先　Satoyama.nannies@gmail.com ／ 080-8342-0128
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

2024 年度は、東近江市森と水政策課とともに、5 歳児を対象に里山保育を実施し、年間 83 回のべ 3200 人の子どもに自然探検プログラムの出前講座を実施しました。指導者である「Nanny」を育成するための研修、指導者研修ほか、外部出前講座を行いました。そして、事務所を構えることができました。

環境や地域への貢献

私たちが学びを重ねることで、子どもやその家庭へ自然の楽しさや生命の大切さを伝えられるようになることが、私たちの環境への貢献です。子どもに週末どこに行きたいか聞いたら近くの山だと言われて驚いた、というお母さんの声も届いています。

助成金が活きたと思う点

2024 年 4 月に事務所開所式を行い、里山保育実施のための準備や打ち合わせのほか、外部からの相談窓口としても機能しやすくなりました。ほかの団体とも円滑に行き来できるようになる便利さも実感しています。今後も地域の里山について学びを深め、その内容を子どもや地域の大人に伝えていく役割を担いながら、自然を愛する心を子どもたちに伝えていきたいと思います。

「伊吹の薬草」を未来につなぐ ～仕組みづくりの挑戦～　伊吹くらしのやくそう倶楽部

活動場所　滋賀県米原市小泉 1　こいずみ棚田
所在地　滋賀県米原市
連絡先　滋賀県米原市小泉 1
活動分野　●森・林・里地 / ●動物 / ●植物 / ●エネルギー・エコ / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

伊吹くらしのやくそう倶楽部は、米原市の北部、伊吹山のふもとに広がるこいずみ棚田で、耕作放棄された農地を開墾、整備しながら、伊吹山の歴史ある薬草の復活と中山間地農業の持続に取り組んでいます。今年度は、トウキやヨモギの栽培、7 年目になる環境省モニタリングサイト 1000 里地調査の継続、農地の新規開拓、味噌づくり、玄米餅づくり、マコモのしめ縄づくりなど、多くのワークショップを行いました。

環境や地域への貢献

伊吹山の薬草ブランドを復活する取り組みを地域の方たちとともに行っています。棚田では、肥料や農薬を一切使わない農法で、環境の維持再生に努めています。そのための講習会なども開催しています。

助成金が活きたと思う点

農業として成り立たず放棄された中山間地の棚田では、助成金がなければ活動を継続することは困難です。獣害柵設置などの費用、各種講習会やワークショップ開催費用に活用させていただいています。

京都自生の絶滅寸前種の保全育成を推進する　源氏藤袴会

活動場所　京都府京都市中京区・上京区京都御苑周辺
所在地　京都府京都市上京区新烏丸通丸太町上る 294-1
連絡先　同上
075-241-2084 ／ 080-9166-5841（馬場備子）
活動分野　●植物 / ●エネルギー・エコ / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

藤袴の保全育成活動では、近年の地球温暖化の影響により育生環境の悪化が顕著になってきました。さし芽は 2 割減少しましたが、株数を減らして例年通り 1200 株を育生しました。異常な昆虫の減少で病害虫はほぼ見られなかったものの、アサギマダラやほかの蝶々なども見られませんでした。ウイルス対策では、桂高校のウイルス除去株の成功と連作障害対策の水耕栽培の研究に進展があり、厳しい年でしたが、何とか開花し藤袴祭での展示ができました。

環境や地域への貢献

2024 度は藤袴保全活動 10 周年で、京都市都市緑化協会と共催で藤袴保全団体交流会（藤袴サミット）を行い、あらためて藤袴保全の歴史や活動、これからの保全育成について交流できました。藤袴祭は 10 周年特別企画も取り入れました。桂高校による藤袴水耕栽培装置展示と藤袴ろうそく発表のほか、福祉施設やフリースクールに育成作業や製品製造を依頼し、品質向上に努めました。重点活動として取り組んだ障害児者の育成・祭参加は、地元小・中学校育成学級の参加に力を入れ、藤袴コンテストで中学生が大賞を受賞する成果がありました。

助成金が活きたと思う点

当会活動は 4 月から育成作業が始まるので、特に土の購入費がすぐ発生します。毎年 7 月までは 1200 鉢の育成関係の作業が終わりますので、大きな財源が必要です。大きな助成額を早い時期にもらえるので大変助かります。

環境保全（竹林整備）の持続可能な視点をどうつくるか

特定非営利活動法人フロンティア協会

活動場所　京都府京都市右京区太秦、向日市など
所在地　京都府京都市右京区嵯峨野開町 15-39
連絡先　075-861-1119　frontier@nethousing.co.jp
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

２年目の私たちの活動は 、「竹林整備」の付加価値づくりとしての行燈制作とリーダー育成を重点的に行いました。子どもたちには「行燈制作」を通じて環境保全を身近に感じてもらいました。制作した行燈を地域の神社、お寺に設置し、地域住民に環境保全の普及啓発活動を行いました。また、新しく竹だけではなくヨシ・ササなどの素材の活用にもチャレンジしました。

環境や地域への貢献

大規模竹林伐採は、機材資材も竹産業関連団体と向日市が行い、向日市最大の催事に発展しました。２日間開催で約４万人が幽玄な竹灯篭や竹行燈を鑑賞しました。木嶋神社、地域のお寺などで行燈を飾り、環境保全を身近に感じてもらいました。

助成金が活きたと思う点

助成金の活用で、大小の行燈を 250 基制作しました。また、リーダー３名育成、大学生の参加 25 名など、当会の若返り（60 ～ 70 歳中心であったのが平均年齢 30 歳程度に）と活動継続が図れました。地域住民の環境保全への意識が変化し、毎回の催しへ 30 名程度の参加があるなど、参加者が増加しました。

里山整備に関わる次世代スタッフ育成（里山であそぼう会）

上宮津・杉山エコガイドの会

活動場所　京都府宮津市上宮津・杉山
所在地　京都府宮津市
連絡先　宮津市小田 829　0772-22-4739
活動分野　●子ども / ●森・林・里地 / ●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

天橋立の借景である杉山は、橄欖岩・蛇紋岩の岩山で、樹齢 300 ～ 400 年の天然杉が 2000 本以上あります。様々な樹形になっている杉に名前を付け、そのうち 130 本を見て回れる遊歩道を整備しました。東屋を作り、案内の道標や看板を設置しました。また、石畳の古道を整備し、古道ウォークを実施。豊富な山野草を鹿害から守るためのフェンス囲いなどもしています。

環境や地域への貢献

担い手が高齢化しているため、次世代を育成するべく「森で遊ぼう」の取り組みをしました。若い親の要望でもあるデイキャンプやお泊り会、餅つきを実施しました。参加者へはスタッフ勧誘や里山保全活動へのお誘いをし、若い人が活動に参加してくれつつあります。継続した保全活動への参加はまだ難しい面もあります。今後、ガイド養成講座も実施予定です。

助成金が活きたと思う点

助成金により、2024 年度はお土産の山椒菓子作りも実施し、参加者が広がりつつあります。地域の特産品として定着させたいと思っています。
古道ウォークや天然杉ウォークの前には道の整備を実施し、環境保全をしています。また、鹿害から植物をフェンスで囲う保護活動も助成金により実施することができました。

生ごみ処理機の改善

認定特定非営利活動法人ブルーシー阿蘇

活動場所　京都府宮津市須津
所在地　京都府宮津市
連絡先　京都府宮津市須津 797
活動分野　●水・水辺 / ●エネルギー・エコ / ●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

ゼオライトという粘土を使って地域の生ごみを発酵肥料に変え、野菜を育て、それを地域で販売する持続可能な高齢者事業「エコの環（わ）」を回しています。「エコの環」は海と陸の豊かさを守り、生ごみから野菜という価値を生み、健康対策、温暖化対策にもなる農法です。ゼオライトは阿蘇海のヘドロからの合成を目指しています。

環境や地域への貢献

これまで高齢者事業として行ってきた「エコの環」ですが、SDGs に大きく貢献することから、むしろ次世代を担う若者にこそ引き継いでもらうべき事業と考え、農業体験ツアーを始めました。「エコの環」は生ごみと引き換えに野菜を買ってもらう関係が築きやすく、自立しやすいことを伝え、当地への若者の移住者募集に力を注いでいきたいと考えています。そして、阿蘇海のヘロドからのゼオライト合成事業につなげたいと考えています。

助成金が活きたと思う点

助成金により従来の生ごみ処理機を大幅に改善し、作業効率の良い頑丈で衛生的な処理機を作ることができました。そして、新しい処理機を用いた日々の作業や、それを見学者に紹介するなかで、改めて「エコの環」事業に自信と確信を持てるようになりました。